

Code Orange

第41号

平成26年 夏の院内災害訓練 9月8日

今年も夏の院内災害訓練が無事、終了しました。皆様ご協力・ご参加ありがとうございました。毎年色々な課題を持って行っているこの訓練、今回のコードオレンジは、本年の訓練の目玉となった内容をピックアップしてお送りします！

【病棟患者避難訓練】

今年は各病棟に「イーバック+チェア」が導入されたのは皆さんもうご存知ですね？今回の病棟患者避難は、イーバック+チェアと災害マットの2種類の器具を使用して行われました。また、昨年から導入された避難フローチャートの使用や被害状況報告書の電子化など、様々な課題を盛り込んだ訓練内容となりました！

今回の訓練結果次第では、災害マニュアルが大きく変わる可能性があります。毎年訓練結果をもとに、どんどんブラッシュアップされてきたマニュアルですが、より実践に即したマニュアルになるよう、今後も様々な課題に取り組んでいきますので、皆様ご協力&ご参加よろしくお祈いします！



【術中判断シミュレーション】

今回の災害訓練で手術室では、実際の手術中に巨大地震が発生した場合の手術継続可否の判断や、手術後の患者の移送先を術者の先生方に考えていただくなど、術中判断シミュレーションという訓練を行いました。

訓練に参加していただいたのは消化器外科・脳神経外科・整形外科の先生方です。手術の術式・進行具合によってすぐに中断できる症例もあれば、〇〇まで手術を進めないと中断できないため仮閉創までには1時間はかかるなど、術中の判断だけでなく仮閉創までの猶予時間も考えていただけました。

移送先については、当初は病棟でいだろうとの見解でしたが、地震後はエレベータが不通となることを伝えると、ICU病棟への移送や一時的に手術室で術後患者を管理する必要があるとの回答が得られました。手術が行われている中での災害対応を考える、よい機会になりました。



【記者会見】

今回は、実際の災害時を想定し、災害訓練の最後のイベントとして、「記者会見」が行われました。災害時にはマスコミ対応は大変重要であり、災害対策本部として把握している情報をまとめた上で、何を発表するべきなのか、どういった質問があるのかなど、手探りでの記者会見となりました。実は中秋の名月でもあったこの日、その話題もこっそりと折り込みつつ、記者会見が終了しました。皆様お疲れ様でした！また次の訓練もよろしくお祈いします。



大阪府基幹災害医療センター
<http://www.osaka-pgmc.com/>
平成26年9月30日発行